

育成モノづくり人材

Vol. 48

広島県立福山工業高校

広島県立福山工業高校は1932年の創立。校舎はJR福山駅から徒歩20分の市内中心地に位置する。「礼



朝倉校長

節は厳しく指導している」と朝倉一隆校長が話すように生徒は登下校時、校門で立ち止まり一礼する。これには規範意識を向上させる

【DATA】▷校長=朝倉一隆氏▷所在地=広島県福山市▷学科構成=機械科、電気科、建築科、工業化学科、染織システム科、電子機械科▷生徒数=862人▷主要設備=レーザー加工機、電子顕微鏡、NC旋盤など▷主な進路=三菱電機、JFEスチール、ホーコス、リョービ、北川鉄工所など

県内モノづくり企業の協力を得て、県立工業高校や工業系学科の生徒を対象に、モノづくりへの情

企業OB招へい、技能習得

思いが込められている旋盤などに加えて、レーザー加工機やCAD/CAMといった先端機器も備える。技能習得に恵まれた環境が中心を担い、造船、あり、授業の現場を統括する高田伸司教頭は「機器を使った実践的な授業で身につけたことは、こうした地域産とが部活動にも反映で

「スーパー・ティーチャー」(S)の熱意を感じ取ってほしい」と期待する。(福山支局長・林武志) (金曜日掲載)



企業OBがスーパー・ティーチャーとして技術指導する(旋盤実習)

一方、工作機械メーカーのホーコス(福山市)の菅田雅夫社長は「地元工業高校があるのは製造業にとっても心強いし、応援したい」とインターン(就業体験)や工場見学を積極的に受け入れる。三菱電機福山製作所(同)は新入社員向けの旋盤教育で同校に出向いて設備を使用するなど、地元での連携、地域交流の幅も広い。朝倉校長は「礼儀を大切に工業の高度技術を身につけて、企業や地域から頼りにされる工業高校でありたい」と力を込める。